

## 編集後記

『女性学評論』第2号の編集を終え、創刊号に続き「自家製造」の現状を痛感、反省している。第3号にはもっと広く寄稿をつのりたいと思う。それとこの場をかりて、創刊号の「訂正とお詫び」をひとこと。「〈コケット〉の系譜—Eliza Wharton から Lily Bart へ—」にあるサンフォード太<sup>・</sup>佐は少<sup>・</sup>佐の誤り。(K. B.)

本学の女性学インスティテュートは、AWI（アジア女性会議）と結びついています。幾重にも差別され、重荷を負うアジアの女性の問題に関わることによって、その美しい自然と人情にふさわしい平和の実現への一助となるのが出来ればと願わずにはおれません。(T. M.)

編集委員を仰せつかって一年間、おかげで、女性学インスティテュートの理解を深めることができました。今後は更に多くの方に関心をもっていただき、広い視野に立った女性学研究の展開になると同時に機関誌には編集委員を悩ます程の原稿が集まることを期待いたします。(J. N.)

本号もまた編集委員が原稿を書く側にまわってしまった。編集者失格である。次年度以降の編集委員は、企画・原稿依頼・原稿集めという本来の仕事だけでいようにしたい。皆さんのご協力をお願いします。(F. T.)

////////////////////////////////////

### 神戸女学院大学 女性学評論 第2号

印刷 1988年3月10日

発行 1988年3月15日

発行人 別府恵子

編集委員 別府恵子、松田高志

内藤純子、床谷文雄 (アルファベット順)

題字 溝口芳子

印刷所 尼崎印刷株式会社

〒660 尼崎市北大物町16番55号

TEL 06-481-0707

発行所 神戸女学院大学女性学インスティテュート

〒662 西宮市岡田山4-1

TEL 0798-52-0955